

私たち民生委員・児童委員は 359 人が
19 地区に分かれて活動しています。

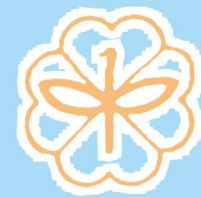


編集後記

「愛のともしび41号」は、19地区のうち7地区の活動をご紹介しました。コロナ禍によるさまざまな制限の中、これまでの活動をアイデアと工夫で新しい形にして、皆様に届けようと日々奮闘しております。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、人と人との繋がりが失われないよう地域のともしびとして努めてまいります。

～編集委員一同～

※次号（令和4年度）は興文・東・西・南・上石津・墨俣地区をご紹介します。



民生委員・児童委員の
マーク

民生委員・児童委員だより

愛のともしび

第41号 令和3年10月15日発行

編集兼発行者
大垣市民生・児童委員協議会
会長 五島 清

大垣市丸の内 2-29
大垣市役所社会福祉課内

題字 大垣市長 石田 仁

愛のともしび発刊に寄せて

大垣市長 石田 仁

民生委員・児童委員の皆様には、常に地域福祉の最前線でご尽力いただき、誠にありがとうございます。

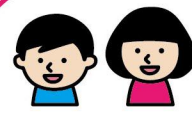
愛のともしびの題字は、第1号発刊より代々市長の揮毫によるもので、今回ご依頼をいただき大変光栄に存じております。

コロナ禍による厳しい状況の中、地域の福祉課題はますます多様化しており、地域の実情を把握し、行政機関との懸け橋となる皆様の役割は、より一層重要なものとなっております。

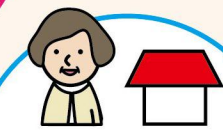
市民の皆様が夢を語り、幸せを実感できる希望あふれる大垣市の実現のために、住民の身近な相談相手として、引き続き温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

この「愛のともしび」が民生・児童委員の活動の一助となることを心よりご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談相手



子どもの
見守り



ひとり暮らし
高齢者等への
連絡・訪問



困り事の
相談・対応



地域の
福祉活動行事
への参加協力



研修・定例会の
実施など

お住まいの地区を担当する民生委員・児童委員が分からないときは、事務局までお問い合わせください。

事務局：大垣市役所社会福祉課内 電話 0584-81-4111（内線 2469）

民生委員・児童委員の活動紹介

第41号は市内19地区のうち 7地区の活動を紹介します

中川地区

これからの新しい時代に私たちができる事 竹中 いづみ

なにかと活動の制限が大きい一年半でしたが、私たちの本分である高齢者の方々の見守りや、皆様のお声をお聞きする活動はとぎれる事なく続けてこられたと自負しています。

他にも小中学校への手作り雑巾の寄付や、中学校での清掃、食事サービス等の奉仕活動もさせていただく事ができました。

大きく変化する社会の流れを読みながら、私たちにできる事は何かと考えて、活動していきたいと思います。



つながりを絶やさない 細川 純子

「今日は初めて人と話した」ひとり暮らしの方を訪問するとこんな事を言われる時があります。コロナ禍で地域の行事も民生委員の活動も制限され、人と人の行き来が減ったため、より孤独を感じるのでしょうか。夏休みにはいつもラジオ体操でお会いしていた方々を、熱中症予防の啓発を兼ねて訪問させていただきました。このような時だからこそ、私たちの地道な活動が大切なのだと認識しました。

赤坂地区

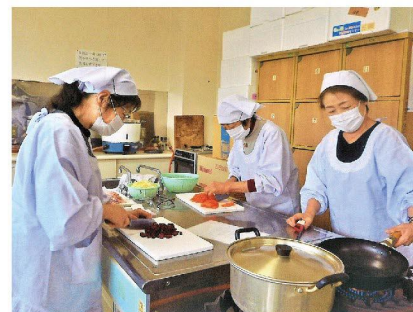
宇留生地区

コロナ禍で今できること 高木 正和

宇留生地区では、「コロナ禍で何ができるか」いつも自問自答しながら、次のような活動をしてきました。一部を紹介します。

「一生懸命掃除をしたら汗をかいたね!」と、会員同士の会話も弾みます。恒例の「お勝山ふれあいセンター」の清掃奉仕活動です。

また、食事サービス事業(写真)では、温かく美味しい手作り弁当を届けようと、コロナ対策で調理人数を減らし、三密にも注意しながら、毎月2回実施してきました。



川並地区

内容を変えて活動しています 川合 藤子

去年と今年はコロナ感染症のために、予定していた活動は中止したり内容を変更したりしながら進めています。年2回の「お年寄りを囲む会」は、ひとり暮らしの方にこちらから伺う「熱中症に気を付けてね」活動に変更しました。体調の変化は、対面でなくては分かりません。まだ長話はできませんが、直接お顔を見て、少し世間話をしたり困りごとがないかを伺ったりしました。ワクチン接種のことやコロナ後にしたいことなどで、思わず話が弾んでしまうこともありました。



食事サービス事業を通して 日比野 勉



第2・4日曜日に希望する見守り対象者の方に食事を提供しています。以前は福祉推進委員・ボランティア・星和中ボランティアクラブ・民生委員で調理し、民生委員が届けていました。コロナ禍で試行錯誤し、食事サービス事業は食事を届けることだけが目的ではなく、届けることによって「見守り活動」をすることが大切ではないかという意見があり、現在は調理できる時は手作りで、できない時は市販の弁当を地域の担当が届けています。

青墓地区

研修でさらに身近に 六戸 ちえ子

コロナ禍、行動の制限される中、二回の研修会を行いました。障がいのある方・その家族・支援する人の心の動きを描いた映画の鑑賞により、障がいへの理解を深めました。また、介護用品の勉強会を行い、適切に使用することによりいかに快適に自宅で生活出来るかを確認しました。

地域の見守りと行政への繋ぎ役として、皆さんの気持ちに寄り添って行動出来る様さらに研修して参ります。



小学校花壇の整備 久保田 敏博



小学校の奉仕活動は、荒崎地区民協の年間行事として5年目を迎えました。9名の民生児童委員・2名の主任児童委員で年2回、朝から先生も加わり花壇の整備をしています。児童も休憩時に活動を目にすることで、花を通して優しい心根になり、他人への思いやりを持つことに変化していくことが、いじめ撲滅へとつながっていくと思います。こうした活動を通じて、学校と地域との連携を深め、関わりを円滑にしていきたいです。

荒崎地区